

第2学年〇組 国語科学習指導案

日 時：令和7年〇月〇日（〇）

場 所：2年〇組教室

授業者：〇〇 〇〇

1 単元名・教材名

異なる視点から「平家物語」の魅力に迫る・「扇の的」－『平家物語』から

2 生徒の実態と本単元の意図

(1) 生徒観

① 県学力・学習状況調査より

4月に実施された令和7年度埼玉県学力・学習状況調査の平均正答率を見てみると国語科全体では、県が54.6%に対し、本校は、〇%であった。また、古典では、「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す」問題と、「古文の中の登場人物の心情として適切なものを4つの中から選択する」問題が出題されている。前者の正答率は、県平均が50.7%に対し、本校は、〇%である。一方で、後者は、県平均が62%に対し、本校は、〇%である。このことから、古文を表面的には読めるが、登場人物の心情を正確に読み取ることに課題があることが分かる。

これまで、古典において、1年生では「竹取物語」の学習、2年生では、「枕草子」の学習を行った。「竹取物語」では、歴史的仮名遣いなどの基礎知識を確認し、文章を繰り返して読むなど、古文の独特なリズムや読み方に慣れる学習を行った。「枕草子」では、第一段「春はあけぼの」で、基礎知識を確認し、第百四十五段「うつくしきもの」では、現代を生きる私たちと作者の価値観を比較検討して、自分なりのものづくしを考えた。古文を読むことに慣れているものの、物語の内容を深く読み取ることを苦手とする生徒が一定数いるというのが現状である。

② 日常の様子より

本学級の生徒は、学習に対する意欲が高く、授業中の発言も活発である。平均点も他のクラスと比べて高く、基礎・基本の定着が見られる。互いの意見を尊重しながら話し合う姿勢が身に付いており、協働的な学びが成立しやすい。また、学級の雰囲気は明るく、人間関係も良好であるため、安心して自分の考えを表現できる環境が整っている。一方で、語彙が十分でなく、自分の考えをうまく言語化することが苦手な生徒も一部に見られる。考えはもっているが、それを的確な言葉で伝えることに困難さを感じている生徒もいる。今後は、語彙力や表現力の向上を図るとともに、互いの考えを共有し合いながら思考を深める活動を取り入れていく必要がある。

(2) 教材観

『平家物語』は、武士の栄枯盛衰を壮大に描く軍記物語であり、日本人の美意識や無常観を象徴する作品である。その中でも「扇の的」は、戦いの中における優雅さや技巧、そして命を懸けた名場面を通して、当時の価値観や美意識を鮮やかに示している。古典語表現や歴史的仮名遣いに触れながら、登場人物の心情や時代背景を読み取ることで、言葉や文化の奥行きを体感できる教材である。

(3) 指導観

現代に生きる学習者が古典を主体的に読み解くためには、作品世界の美しさや登場人物の生き方を自分の視点で捉え、仲間と交流しながら考えを深める活動が不可欠である。特に、「語りの力」や「表現の工夫」に着目させ、登場人物の当時の価値観や（生きるための覚悟の強さや主君への忠誠心など）時代の無常観を多面的に読み取る活動を通して、知識の習得にとどまらず、価値や美意識を共有・再構築する深い学びを実現したい。

3 研究課題との関わり

(1) 研究課題との関わり

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

(2) 研究の視点

「主体的・対話的で深い学び」の実現する授業づくり
～国語科の「見方・考え方」を働かせた学習活動の充実～

(3) 研究課題解決のための仮説と手立て

仮説

「対話的な学び」に焦点を当て、知識構成型ジグソー法を活用した多面的な読みの実践により、生徒の「主体的・対話的で深い学び」が達成できるのではないか。

手立て①：平家物語「木曾の最期」「敦盛最期」「先帝御入水」の章段をエキスパート活動で研究する。

手立て②：ジグソー活動を通して内容を共有し、「平家物語」の面白さや魅力についてクロストークで深める。

手立て③：考えたことをスライドにまとめ、他者に伝える活動を通して思考を深化させる。

4 単元の目標

- (1) 現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を
知ることができる。 (知識及び技能) (3)イ
- (2) 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて
考えたりして、内容を解釈することができる。 (思考力、判断力、表現力等) (1)イ
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思い
や考えを伝え合おうとする。 (学びに向かう力、人間性等)

5 本単元における言語活動

「平家物語」を読んで、自分の選んだ章段における内容や、その魅力を伝える。

(関連：言語活動例 (2)イ)

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を 知っている。(3)イ	①「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。(1)イ	①粘り強く、本文の内容を捉え、自分なりに解釈し、学習課題に沿って自分の選んだ章段を分かりやすく伝えようとしている。

7 指導と評価の計画（全6時間）

	主な学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価
1	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の見通しをもつ。 ○実際に琵琶法師の弾き語りを視聴する。 ○講談師神田伯山の語りを鑑賞し、興味をもつ。 ○複数のメディアで「扇的」に親しむ。 ○教科書の本文を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の見通し ○「扇的」のあらすじ 	<ul style="list-style-type: none"> ○『平家物語』の内容や魅力を伝えるというゴールを示し、そのために何が必要か考え、見通しをもたせたい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本時は、知識及び技能(3)アに基づいて指導を行うが、単元の目標としていないことから評価には含めない。</p> </div>
2・3	<ul style="list-style-type: none"> ○「扇的」をもとにしたジグソー活動で章段の理解を深める。 <li style="padding-left: 20px;">A時代背景と歴史的仮名遣い、リズム <li style="padding-left: 20px;">B人物の魅力、人物関係図 <li style="padding-left: 20px;">C無常観、比喻 <li style="padding-left: 20px;">《エキスパート活動》 <li style="padding-left: 20px;">《クロストーク》 	<ul style="list-style-type: none"> ○「扇的」の理解 	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークシートを活用し、ABCの観点で「扇的」を読み深めさせたい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【知識・理解①】 スライド ここでは、現代語訳等を参考に、話の内容をまとめているかを確認する。</p> </div>
4・5	<ul style="list-style-type: none"> ○自分で選んだ章段をもとにしたジグソー活動 「平家物語」の多面的な読みを形成する。 「木曾の最期」 「敦盛最期」 「先帝御入水」 《エキスパート活動》 ○読み深めた内容をスライドにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○内容の解釈 	<ul style="list-style-type: none"> ○自選章段を読み深めるなかで、自分なりの意見をもたせたい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【思考・判断・表現①】 スライド ここでは、複数の作品から情報を得て、物語の内容を自分なりに理解、解釈しているかを確認する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【主体的に学習に取り組む態度①】 観察・スライド ここでは、自分の選んだ章段を何度も読むなど、学習課題に粘り強く取り組み、本文の一部を引用して伝えるなど、平家物語の内容を分かりやすく伝えるための工夫をしているかを確認する。</p> </div>
6 本時	<ul style="list-style-type: none"> ○前時で学んだ内容を基にしたスライド発表を通して、思考を深化させる。 《ジグソー活動》 ○クロストークを通して、自分の考えを深め、平家物語の魅力をもとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○内容の理解 ○説明する方法 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【思考・判断・表現①】 スライド ここでは、複数の作品から情報を得て、物語の内容を自分なりに理解、解釈しているかを確認する。</p> </div>

8 本時の学習指導（6／6時）

(1) 目標

目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈することができる。 〈思考力、判断力、表現力等〉 C(1)イ

(2) 評価規準

「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。 【思考・判断・表現】 (1)イ

(3) 展開

学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価	時間
1 本時の課題をつかむ。			3
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「平家物語」が今でも語り継がれている理由を探ろう。</div>			
≪エキスパート活動≫前時の確認 2 同じ作品を選んだ人同士で集まり、 3～4人程度のグループで交流する。 ≪前時の確認≫	○内容の解釈	○最も伝えたい内容を赤字にするなど次の発表を円滑にするための最終確認であることを意識できるようにする。	5
≪ジグソー活動≫ 3 3～4人程度のグループで読み深めた内容を報告し合う。 ・タブレット（スライド）を活用して発表する。	○内容の解釈	○自選章段のストーリーの紹介をメインに発表するように伝える。	25
≪クロストーク≫ 4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「平家物語」が現代でも語り継がれている理由とは？</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 評価規準 【思考・判断・表現①】 観察・ワークシート ここでは、複数の作品から情報を得て、物語の内容を自分なりに理解、解釈しているかを確認する。 〈「概ね満足できる」状況 (B) の具体例〉 自分の担当したパートをプリントやスライドを活用して伝えている。 〈「努力を要する」状況 (C) への手立て〉 発表の型を示すなど、苦手な生徒が発表しやすい雰囲気を作る。 </div>	
・学び合い班で導いた結論をスプレッドシートに打ち込む。			

5 本時のまとめをする。			4
<p>「平家物語」が現代でも語り継がれる理由とは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代でも共感できる命の儚さ ・生と死に対する考え方 ・歌として伝える工夫 <p>が現代の私たちの興味を惹きつけるからである。</p>			
6 学習の振り返りをする。			
<p>〈期待される生徒の振り返り〉</p> <p>「扇的」で学んだ見方を使うと、他の章段の魅力も見えてきた。他の子と交流する中で、興味が出てきたので、自分が選んだ章段以外の章も読んでみたい。</p>		<p>○様々な資料を使って調べたり、友達と交流したりすることで、自分とは違った視点で選んだ章段の魅力を実感し、「平家物語」の世界に親しむことができたか振り返る。</p>	3

(4) 板書計画

<p>「平家物語」が今でも語り継がれている理由とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ <p>まとめ</p> <p>古文は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時代背景、仮名遣い ・登場人物 ・価値観（無常観） <p>に注目すると内容が理解しやすい。</p> <p>流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 確認（エキスパート） ② 発表（ジグソー） ③ クロストーク ④ まとめ <p>「平家物語」 めあて 「平家物語」が今でも語り継がれている理由を探ろう。</p>

9 備考 在籍生徒数：○人